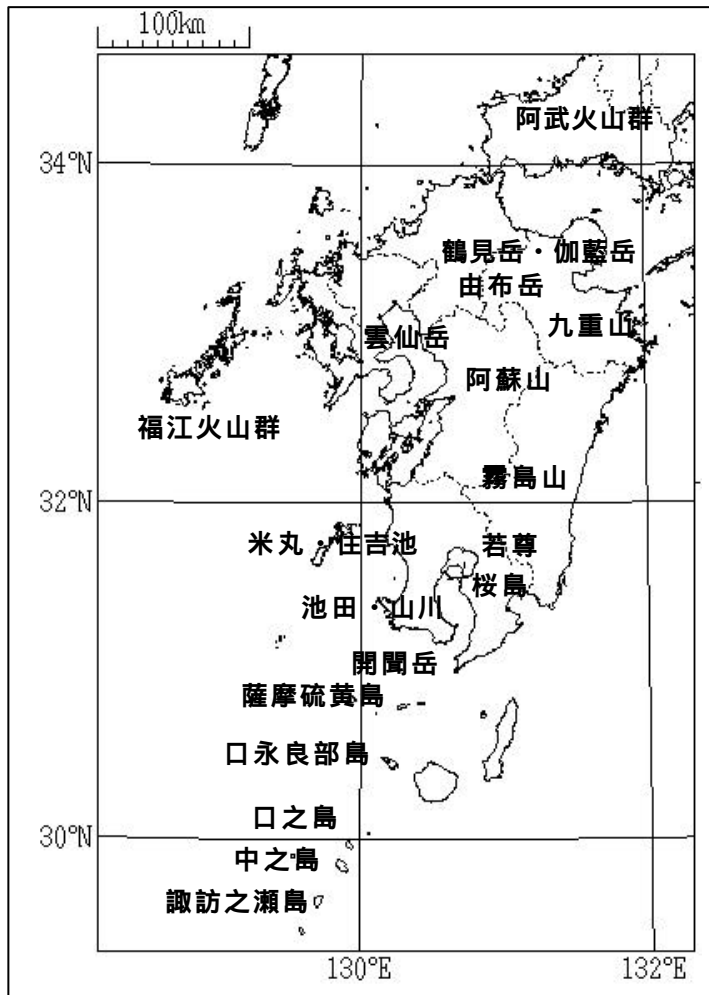


九州地方の火山活動解説資料(平成 17 年 3 月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：諏訪之瀬島(火山活動度レベル 3
(小規模な噴火が発生))

噴火が 11 回発生し、火山活動は活発な状態でも経過しました。爆発的噴火はありませんでした。1 日、2 日と 20 日に集落で少量の降灰がありました。

：阿蘇山(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

中岳第一火口の湯だまりの量は、8 日にそれまでの約 4 割から約 3 割に減少しました。湯だまりの色は灰色で、湯だまりの温度は 70 前後の高い状態が続いています。湯だまりの中央部で高さ約 10m、その他数ヶ所で 2 ~ 3 m の土砂噴出を観測しています。

孤立型微動は 1 日あたり 29 ~ 120 回で、やや増加しています。B 型地震は 1 日あたり 18 ~ 65 回で、やや多い状態で推移しました。

：霧島山(火山活動度レベル 御鉢は 2 (やや活発な火山活動)、新燃岳は 1 (静穏な火山活動))

御鉢では、監視カメラで時々火口縁上に噴気が上がっているのを観測するなど、やや活発な状態が続いています。御鉢付近を震源とする火山性地震の発生は少な

く、継続時間の短い火山性微動が 4 回発生しました。

新燃岳では、火山性地震の発生は少なく、火山活動は静穏でした。

：桜島(火山活動度レベル 2 (比較的静穏な噴火活動))

噴火はありませんでした。火山性地震の発生は少ないなかで、A 型地震のやや多い状態が続いています。GPS 観測では、昨年 11 月頃から本年 2 月にかけて各観測点間の距離の伸びがやや加速する傾向が見られましたが、3 月は伸びの傾向が緩やかになりました。

：口永良部島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

火山性地震の発生はやや多く、新岳火口の北側の噴気が見られるなど、火山活動はやや活

発でした。

：薩摩硫黄島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動が時々発生するなど火山活動はやや活発でした。

：九重山(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))、雲仙岳(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))

火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第9号	4日11時00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。2日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約4割、色は灰色、表面温度は不明。湯だまりの中央部で高さ約5m、南西側で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第10号	11日11時00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。8日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約3割に減少。湯だまりの色は灰色、表面温度は72。湯だまりの中央部で高さ約10m、西側と南側で高さ2~3m、他数ヶ所で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第11号	18日11時00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。16日の現地観測では、中岳第一火口の湯だまりの量は約3割、色は灰色、表面温度は77。湯だまりの中央部で高さ7~8m、西側と南側で高さ2~3m、他数ヶ所で高さ1~2mの土砂噴出を観測。火山性地震のやや多い状態が続いている。
	火山観測情報第12号	25日11時00分	火山活動やや活発(火山活動度レベル2)。火山性地震のやや多い状態が続いている。 中岳第一火口の現地観測は天候不良のため実施できず、遠望カメラによる観測でも湯だまりの量、色等は不明。

口永良部島	火山観測情報第 11 号	4 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。2 日に行った上空からの観測では、新岳火口底や火口外の噴気地帯の噴気量は少ない。
	火山観測情報第 12 号	11 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。熱映像観測の結果では、約 1 年前と比較し新岳火口底や火口周辺で温度の高い領域がやや広がり、温度の上昇がみられる。
	火山観測情報第 13 号	18 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。噴気活動に大きな変化はみられない。
	火山観測情報第 14 号	25 日 14 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。火山性地震のやや多い状態が続き、継続時間の短い火山性微動が時々発生。遠望カメラで、新岳火口北側の噴気地帯から高さ 10m の白色の噴気が上がるのを観測した。

次回の火山活動解説資料の公表は 5 月 10 日(火)の予定です。

各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。

気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」

(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)